

## Press Release

本リリースに関する連絡先

広報担当 榊原優  
03 6271 9408  
[yu.sakakibara@bakermckenzie.com](mailto:yu.sakakibara@bakermckenzie.com)

### ベーカーマッケンジー、海外特化型の脱炭素エネルギーファンド 「JAPAN ENERGY ファンド」設立に関して Japan Energy Capital 合同 会社へ法的アドバイスを提供

【2020年7月29日 東京発】ベーカーマッケンジー法律事務所（外国法共同事業）（所在地：東京都港区、代表パートナー：近藤浩、以下、「ベーカーマッケンジー」）は、ENECHANGE 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼 CEO：城口洋平、以下「ENECHANGE」）、株式会社 Looop、大和エネルギー・インフラ株式会社、および北陸電力株式会社の4社が出資者となる、海外特化型の脱炭素エネルギーファンド「JAPAN ENERGY ファンド（以下、「本ファンド」）」の設立にあたり、本ファンドの General Partner である Japan Energy Capital 合同会社へ法的アドバイスを提供いたしました。

本ファンドは2015年に国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）の5つの目標に対して集中的に取り組むことで持続可能な社会の実現を目指します。脱炭素・ESG投資を実施する国内外の投資家を募集し、投資規模総額は約1,000億円を想定しています。第一号ファンドでは、再生可能エネルギー市場の投資環境が整備され、電力需要の成長が安定的に見込まれている新興国のトルコ共和国にて、13MW太陽光発電所の共同運営権を、1億米ドル（110億円規模）の出資により取得する予定です。

ベーカーマッケンジーでは、東京事務所の再生可能エネルギーグループ共同代表である江口直明弁護士が本案件を率い、チームメンバーとしてイスタンブール事務所に出向経験のあるシニア・アソシエイトの富本聖仁弁護士が中心となり複数の弁護士が携わりました。トルコ側はイスタンブール事務所のパートナーである Duygu Turgut とシニア・アソシエイトの Güven Maviş が対応しました。

江口は本案件について、「ベーカーマッケンジーは国連地球サミットにて創設された持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）に参加した[最初の国際法律事務所](#)です。その世界におけるネットワークや経験を生かし、新興国の持続可能なインフラ開発や先進国の最先端技術を有するスタートアップ企業への投資に繋がる本案件に関与させていただけることができ大変に光栄に思っております」と述べました。

- 以上 -

## 本件における責任者



### 江口直明

銀行・金融グループ所属、再生可能エネルギーグループ共同代表、パートナー  
03 6271 9441

[naoaki.eguchi@bakermckenzie.com](mailto:naoaki.eguchi@bakermckenzie.com)

東京事務所の銀行・金融グループに所属し、再生可能エネルギーグループ共同代表。2010年に手がけた案件、ゴールドマンサックスによるユニバーサルスタジオジャパンのMBOのための買収ファイナンスがALB Law AwardsのDebt Market Deal of the Yearを受賞、また2018年には福島県・相馬港天然ガス発電事業（1,180MW）においてDeal of the Year at the 2018 ALB Law Awardを受賞。洋上風力を含む再生可能エネルギー及びインフラプロジェクトを専門とする。太陽光発電3GW、風力発電300MW、バイオマス発電500MW、地熱発電10MW、仙台空港、関西空港、福岡空港、熊本空港、北海道7空港、広島空港コンセッションに関与。2020年度Chambers Asia Pacificにおけるプロジェクト及びエネルギー分野のBand 1弁護士にランキング。



### 富本聖仁

コーポレート／M&Aグループ所属、シニア・アソシエイト  
03 6271 9710

[seiji.tomimoto@bakermckenzie.com](mailto:seiji.tomimoto@bakermckenzie.com)

東京事務所のコーポレート／M&Aグループ所属。国内外におけるM&A、合併会社設立、企業再編、雇用案件、商事契約等を手掛ける。社内弁護士としてモルガン・スタンレーに勤務した経験を持つ。当事務所入所以前は英国系大手法律事務所の東京オフィス及びロンドンオフィスにおいて勤務。2016年1月より2017年8月まで、ベーカーマッケンジーのイスタンブールオフィス（Esin Attorney Partnership）に出向後、東京オフィスに復帰。当事務所ジャパン・トルコデスク代表。

## ベーカーマッケンジーについて

ベーカーマッケンジーは、世界を舞台とする厳しい競争に立ち向かうクライアント企業を支援します。私たちは、様々な国や幅広い業務分野に関わる複雑な法的課題を解決します。70年以上にわたり独自の文化を育んできた当事務所では、13,000人の所員が現地の市場を理解し、複数の国や地域に跨る案件を巧みに遂行することができます。信頼のおける同僚・友人のように、互いに協力して案件に臨むことで、クライアント企業と信頼を築きます。

[www.bakermckenzie.com](http://www.bakermckenzie.com)

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、ベーカーマッケンジーの東京事務所として1972年に開設されました。日本法に関する卓越した知識、経験とともに、グローバル・ビジネスに関する実績とノウハウを兼ね備えた外国法共同事業を営む法律事務所として、日本最大級の規模を有しています。当事務所は、ベーカーマッケンジーのメンバーファームとして、国内外の金融法務、M&A、企業法務、独占禁止法、大型プロジェクト、知的財産、国際税務、訴訟・仲裁、労務、環境、製薬、不動産関連等について、総合的かつ専門的な法務サービスを提供しています。

[www.bakermckenzie.co.jp](http://www.bakermckenzie.co.jp)

